



## 第 14 回地盤改良シンポジウム 開催のご案内

主 催 (公社)日本材料学会

協 賛 (公社)地盤工学会・(公社)土木学会

狭隘な国土の我が国において土地資源を最大限利活用しつつ社会基盤整備を進めていくためには、地盤改良技術は不可欠です。近年では宅地造成や軟弱地盤対策のみならず、土壌・地下水汚染の対策などにも地盤改良技術が広く適用され、新材料やリサイクル技術の開発も活発に行われています。また、東日本大震災に関連して地盤改良の効果が議論されるなど、我が国における地盤改良技術の注目度・重要度はさらに高まっています。このような趨勢を受け、日本材料学会地盤改良部門委員会ではこれまでに 13 回の地盤改良シンポジウムを開催いたしました。この度、下記のとおり「第 14 回地盤改良シンポジウム」を開催いたします。115 件の一般論文発表および特別講演を予定しております。多数の方のご参加をいただきますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

### 記

期 日 令和 2 年 12 月 3 日 (木)・4 日 (金)

開催形式 ハイブリッド形式 (現地対面＋オンライン Zoom) ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催形式を変更する場合がございます。

会 場 沖縄県市町村自治会館 (沖縄県那覇市旭町 116-37) ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催形式の変更に伴い会場も変更する場合がございます。

参 加 費 論文集代金として以下を予定しています (現地参加・オンライン参加で参加費の区別はありません)。  
正会員(協賛学会員を含む)：7,000 円、学生会員(協賛学会員を含む)：3,000 円、非会員：10,000 円、学生非会員：4,000 円

申込方法 オンラインによる事前申込み：<http://www.jsms.jp/workshop/jibansymentry.html>

※申込者には、事前に USB 論文集を郵送いたします。

※申込者には、11 月 26 日頃までに Zoom 情報をメールでお知らせいたします。

そ の 他 ※新型コロナウイルス感染症対策として、対面参加を予定している方で本会ご参加までの 1 週間以内の発熱や体調不良等があった場合、また当日検温し発熱している場合は報告してください。(対面での参加をお断りさせていただく場合があります。)

※本シンポジウムの詳細は地盤改良部門委員会ホームページ(<http://jiban.jsms.jp/>)で確認ください。

※第 14 回地盤改良シンポジウム論文集は USB 論文集として発行します。

※若手研究者(令和 2 年 4 月 1 日時点で 35 歳未満)の口頭発表を対象に優秀発表者賞を設けます。

※本シンポジウムにお届けいただいた個人情報は、本シンポジウム運営のみに使用します。

問合せ先 (公社)日本材料学会 第 14 回地盤改良シンポジウム係

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101

Tel: 075-761-5321 Fax: 075-761-5325 E-mail: [inazumi@shibaura-it.ac.jp](mailto:inazumi@shibaura-it.ac.jp) 【担当：稲積真哉 (芝浦工業大学)】

(口頭発表者には○を付し、所属を示しています。共著者の所属は省略しています。)

(口頭発表者は口頭発表 8 分 + 質疑応答 4 分程度を予定しています。)

12月3日（木）  【 受 付 】	A 会場  8:50～		
12月3日（木）  【 開 会 】	A 会場  9:15～ 9:25		
12月3日（木）  【 01. 固化1（泥土） 】  座長：大島昭彦（大阪市立大学） 大山 将（鴻池組）  (1-1)セメント系改良材の2回分割添加・攪拌が有機質土の改良後の一軸圧縮強さに与える影響 ○山口晶（東北学院大学）・山根行弘・武田裕樹・大森啓至 (1-2)固化材含有量計測システムの開発と現場適用事例の報告 ○望月勝紀（大林組）・森田晃司・三浦俊彦・幸山大己 (1-3)各種改質材を用いた高含水底泥の改良効果に関する検討 ○水野健太（若築建設） (1-4)中性改良材を用いた泥土の即時改良とその後の固化処理による強度改善 ○松尾雄治（九州産業大学）・林泰弘・田中誠也・藤龍一 (1-5)シールドビット交換の効率化に貢献する難凍結性加泥材混合土砂の諸特性 ○黒岩大地（富士化学）・松山雄司・笹原茂生・西田与志雄・石井裕泰・渡辺正嘉 (1-6)浚渫土砂を用いた高圧脱水固化処理土の水セメント重量比と一軸圧縮強度特性 ○上野和敬（九州大学）・笠間清伸・中川康之・古川全太郎・善功企・春日井康夫・片桐雅明・瀬賀康浩・南正治・末次広児・高嶋紀子 (1-7)古紙を微細化加工した高含水泥土処理材の地盤中における分解挙動に関する検討 ○澤村康生（京都大学）・宮崎祐輔・Vivian Njambi Gathuka・矢野隆夫・木村亮 (1-8)竹チップの腐朽に着目した混合固化処理土の長期耐久性の検討 ○古賀千佳嗣（福岡大学）・佐藤研一・藤川拓朗	12月3日（木）  B 会場 9:30～11:10  【 06. 新材料 】  座長：佐藤研一（福岡大学） 吉田雅彦（セメント協会）  (6-1)パン酵母と農業用肥料を使った環境調和型地盤改良技術の開発 ○谷口恵梨（熊谷組）・中村孝道・遠藤正美・阿部磨弥・川崎了 (6-2)水ガラスを用いた新規高強度地盤注入材の構造と物性に関する検討 ○松山雄司（富士化学）・笹原茂生・齋藤誠・伊藤弘樹 (6-3)ゲルの収縮メカニズムを利用した新規低収縮グラウト材 ○大野直樹（富士化学）・笹原茂生・徳永貴大 (6-4)糖蜜に酢酸と酸化カルシウムを添加した水溶液で締固めた粘土の力学特性 ○堤隆（鹿児島高専）・日高純三・内田修司 (6-5)廃シロップ添加によるセメント改良土の強度向上に関する研究 ○山谷健介（香川大学）・柴田慶一郎・松本直通・岡崎慎一郎・吉田秀典 (6-6)火星模擬土（MMS-1）の力学特性に関する基礎的研究 ○藤川拓朗（福岡大学）・Tim Newson・Aly Ahmed・Muhammad Safdar (6-7)短繊維補強砂の締固め特性と強度変形特性 荒牧憲隆・小竹望・清水達也・○新川裕也（香川高専） (6-8)クエン酸ナトリウムを混合した石膏固化処理土の力学的特性 荒牧憲隆・小竹望・○佐伯颯良（香川高専）・塩入潤一郎・佐野博昭	12月3日（木）  C 会場 9:30～11:10  【 11. 高圧噴射 】  座長：鍋島康之（明石高専） 平田茂良（大和ハウス工業）  (11-1)特殊土地盤を対象とした高圧噴射攪拌工法（V-JET 工法）の施工例 ○島野嵐（三信建設工業）・上田守・佐藤将大 (11-2)高圧噴射攪拌に伴う山留め壁水平変位の梁ばねモデルによる考察 ○中沢楓太（東急建設）・沼上清 (11-3)CAE による中圧噴射攪拌工法の可視化と性能評価 ○小牧貴大（東洋産業）・中西康晴・二葉大翼・稲積真哉 (11-4)低排泥型の高圧噴射攪拌工法による施工実験と品質調査 ○山中龍（竹中工務店）・田屋裕司・原功一・阿部宏幸・小松和彦 (11-5)杭の補修・補強のための高圧噴射攪拌工法による地盤改良とその適用 ○鎌田敏幸（ケミカルグラウト）・山上幸・島村淳・一坪慎吾・久世直哉 (11-6)多重管高圧噴射攪拌工法の実用化とその施工事例 ○屋宜盛胤（ソイルワークス）・今井治憲・近藤省一・美野輪皇士・竹田敏彦・山根行弘 (11-7)水平型高圧噴射攪拌混合による橋台背面盛土のゆるみ対策に関する適用事例 ○川西敦士（前田建設工業）・金城力・濱田吉貞・小湊祐輝 (11-8)高吸水性ポリマーを用いた高圧噴射攪拌工法の開発 ○下坂賢二（戸田建設）・赤塚光洋・大野康年・伊藤孝芳・赤木寛一	

<div>12月3日(木)</div> <div>A会場12:20～14:00</div> <div>【02. 固化2（長期挙動・予測）】</div> <div>座長：後藤年芳（後藤技術士事務所） 小林泰三（立命館大学）</div> <div>(2-1)海水浸漬したセメント改良砂の劣化メカニズムの化学的解釈と炭酸塩添加による劣化抑止効果 ○石蔵良平（九州大学）・藤澤拓馬・河野貴穂・安福規之</div> <div>(2-2)繰返荷重を与えた固化処理地盤の一軸及び支持力実験 ○高山慎一郎（東京工業大学）・笠間清伸</div> <div>(2-3)セメント改良された高有機質土に対する強度向上技術の開発 ○島田聡之（花王）・長澤浩司・林宏親・橋本聖</div> <div>(2-4)ベンダーエレメント試験とX線CTスキャンを活用したセメント安定処理土の強度予測に関する研究 ○平林弘（東亜建設工業）・川口貴之・Batbayar Enkhzaya・Dagvadorj Otgonjargal</div> <div>(2-5)中空ねじりせん断試験によるセメント安定処理粘土の繰返し変形特性 ○近藤壮一郎（日本大学）・山田雅一・道明裕毅・近藤壮一郎</div> <div>(2-6)等価線形解析によるセメント安定処理地盤の地震応答解析 ○韓其達（日本大学）・山田雅一・道明裕毅・近藤壮一郎</div> <div>(2-7)Unconfined compressive strength evaluation for cement-mixed soil by image analysis ○Tao Zhang（東京工業大学）・Kiyonobu Kasama</div> <div>(2-8)カルシウム溶脱を受けたセメント処理粘土のせん断強度特性 末次大輔・○井上徹郎（宮崎大学）・原弘行</div>	<div>12月3日(木)</div> <div>B会場12:20～14:00</div> <div>【07. 地盤環境1（リサイクル材1）】</div> <div>座長：石井裕泰（大成建設） 伊藤 譲（摂南大学）</div> <div>(7-1)フライアッシュ混合改良土のコーン指数と土壌溶出量基準からみた安全性 山田幹雄・佐野博昭・○小木曾晴信（福井高専）</div> <div>(7-2)地盤補強-発電-アスファルト廃材リユースに関するトータルシステムに関する基礎的研究 ○横浜勝司（北海道大学）</div> <div>(7-3)粉じん飛散防止材の散布による降雨時の法面侵食防止効果 ○河野麻衣子（鹿島建設）・田淵哲也・北田健介・越川義功・リンブーケン</div> <div>(7-4)リサイクル材の有効活用による藻場基盤材の開発と藻場再生に関する実証試験 ○福田和純（西日本工業大学）・山本健太郎・根上武仁・溝口直敏・平瑞樹・蘇超</div> <div>(7-5)木材成分を利用した粉塵飛散防止材の開発 ○井出一貴（大林組）・三浦俊彦・千野裕之</div> <div>(7-6)繊維状木屑を混合した粒状地盤材料の力学特性 ○押野滉大（東京理科大学）・菊池喜昭・野田翔兵・吉川友孝</div> <div>(7-7)水酸化カルシウム水溶液で養生した高炉スラグ微粉末混合砂供試体の経時変化に伴う一軸圧縮強度・変形特性の変化 ○坂本龍太郎（福岡大学）・西智美・村上哲・櫛原弘貴・雨宮拓馬</div> <div>(7-8)廃ガラス微粉末を利活用した地盤改良用添加材（アースシリカ）の適用性における検証実験 ○相澤英輔（土木地質）・水田智幸・本谷洋二・吉本敦哉・橋本亮・関昌則・稲積真哉</div>	<div>12月3日(木)</div> <div>C会場12:20～14:00</div> <div>【12. 軟弱地盤・液状化】</div> <div>座長：藤原照幸（地域地盤環境研究所） 三浦俊彦（大林組）</div> <div>(12-1)エコチップ法によるアンコール遺跡の砂岩とラテライトの強度評価 ○福田光治（大成ジオテック）・岩崎好規・小山倫史・新谷真人・山田俊亮</div> <div>(12-2)細粒分を含む砂のN値と液状化強度に及ぼす水平応力比の影響 原田健二・石原研而・○矢部浩史（不動テトラ）</div> <div>(12-3)土の締固め度と地盤硬度ならびに草本根系の伸長 ○池谷真希（東海大学）・杉山太宏</div> <div>(12-4)現地観測記録に基づく丸太打設液状化対策効果の検証の試み ○原忠（高知大学）・黒崎颯・芳本健太・沼田淳紀</div> <div>(12-5)軟弱地盤中に打設した単体丸太の押込み試験 ○佐々木修平（住友林業）・藤野一・三村佳織・沼田淳紀・村田拓海・川崎淳志・杉山耕平</div> <div>(12-6)既設小規模構造物を対象とした排水性浮き型格子状地盤改良による液状化被害抑制効果 ○中谷一貴（名古屋工業大学）・森河由紀弘・前田健一・高木要・佐藤智範</div> <div>(12-7)地震と降雨の作用を受ける蛇籠擁壁の安定性に関する模型実験 ○中澤博志（防災科学技術研究所）・石澤友浩・檀上徹・原忠・末次大輔・西剛整</div> <div>(12-8)細粒分の多い火山灰質土に対する液状化対策としての薬液注入工法の適用性 ○堤彩人（五洋建設）・増田雄太郎・陳恩施・坂元宏司・山本敦・鈴木定義・片山通平・堀口晴実・後藤雄平・佐々木将仁</div>
<div>12月3日(木)</div> <div>A会場14:20～16:00</div> <div>【03. 固化3（改良効果）】</div> <div>座長：重松宏明（石川高専） 中村光男（長谷工コーポレーション）</div> <div>(3-1)浅層改良盤の変状に関する実験的検討 ○近藤益央（土木研究所）・宮武裕昭</div> <div>(3-2)溶液型注入剤のゲル化・強度発現過程の解明 ○笹原茂生（富士化学）・松山雄司・尾関寿美男</div> <div>(3-3)複合型地盤改良による盛土の変形抑制および改良体の健全性に関する動的遠心力载荷模型実験 ○橋本聖（土木研究所寒地土木研究所）・近藤益央・畠山乃・宮武裕昭・林宏親</div>	<div>12月3日(木)</div> <div>B会場14:20～16:00</div> <div>【08. 地盤環境2（リサイクル材2）】</div> <div>座長：並河 努（芝浦工業大学） 松原 仁（琉球大学）</div> <div>(8-1)廃ガラスカレットの気泡混合軽量土への適用性について ○谷内建吾（エステック）・小川恒朗・岡本郁也・吉原正博・日置和昭・山本剛一</div> <div>(8-2)スラグ混合浚渫土砂の水中投入後ののり面勾配の評価 ○片桐雅明（日建設計シビル）・南野佑貴・春日井康夫・渡部耕平・廣岡明彦・橋爪秀夫・瀬賀康浩・西野智之・高嶋紀子</div> <div>(8-3)スラグ混合浚渫土で構築した盛土の破壊メカニズムと円弧すべり解析の適用検討</div>	<div>12月3日(木)</div> <div>C会場14:20～16:00</div> <div>【13. 圧密・粘土】</div> <div>座長：山中 稔（香川大学） 渡邊康司（愛知工業大学）</div> <div>(13-1)土中における生分解性ドレーン材の物性変化 ○飯塚浩延（チカミミルテック）・田口博文・田中卓也・岡部有利子・水野健太・鈴木俊治</div> <div>(13-2)SST工法（置換・固結・締固めを組み合わせた置換式締固め工法）の現場適用事例 ○石隈大夢（エスエスティー協会）・飯田哲夫・山田武史・稲積真哉</div>

<p>(3-4)再生二水石膏を用いた中性固化材の改質効果と再泥化評価 ○郭嘉（福岡大学）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣・小堺規行・吉田雅彦・植田竜也・太田敏則</p> <p>(3-5)斜め壁を併用した格子状地盤改良工法の遠心実験 ○椎葉偉久（竹中土木）・金田一広・小西一生・津國正一・今井正之</p> <p>(3-6)浅層安定処理における施工機械の混合精度 ○若原千恵（東洋スタビ）・成瀬慎司・吉村優治</p> <p>(3-7)コンピュータシミュレーションおよび攪拌混合模型実験によるDCS工法（相対攪拌式深層混合処理工法）の性能評価 高植俊彰・田中重明・○篠井隆之（日本海工）・稲積真哉</p> <p>(3-8)Effect of soil improvement on the dynamic behavior of structure supported by shallow foundation ○Thanisorn Srikulruangroj（東海大学）・Atsushi Mikami</p>	<p>○南野佑貴（日建設計シビル）・片桐雅明・春日井康夫・渡部耕平・廣岡明彦・瀬賀康浩・西野智之・高嶋紀子</p> <p>(8-4)硬化遅延を施した高炉水砕スラグ・自然砂混合土の強度・透水特性の経時変化 ○永田真也（九州大学）・石蔵良平・安福規之</p> <p>(8-5)製鋼スラグに石炭灰を混合した地盤材料の力学・溶出特性に関する基礎的検討 ○嶋村淳平（福岡大学）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣・柳正人</p> <p>(8-6)鉄鋼スラグと木屑を混合した地盤材料の一軸圧縮特性に及ぼす乾湿繰り返しの影響 ○吉川友孝（東京理科大学）・菊池喜昭・野田翔兵・押野滉大・柿原結香</p> <p>(8-7)上載圧下で養生した転炉系製鋼スラグ混合粘性土のせん断特性 ○柿原結香（東京理科大学）・菊池喜昭・野田翔兵・山口天宗・吉川友孝</p> <p>(8-8)第一次産業で生じる種々の廃棄物系バイオマスがセメント改良土の強さに及ぼす影響 ○兵動太一（富山県立大学）・内田慎哉・寺迫太陽・荒井靖仁・掛川智仁</p>	<p>(13-3)丸太打設軟弱地盤対策における丸太頭部の碎石充填方法 ○村田拓海（飛鳥建設）・沼田淳紀・佐々木修平・藤野一・川崎淳志・杉山耕平</p> <p>(13-4)大規模な軟弱地盤対策として真空圧密工法を用いた海外でのテストコースの施工事例 ○佐々木徹（大林組）・佐古直稔</p> <p>(13-5)水平ドレーンを利用した真空圧密工法の適用事例 穂苅弘一・佐藤輝美・杉本健彦・伊藤健一・太田一・○本間祐樹（錦城護謨）・武村潤・白神新一郎</p> <p>(13-6)東大阪市西岩田での地盤調査結果と粘土層の土質特性 ○武野航大（大阪市立大学）・大島昭彦・糟谷祐多・高橋秀一・深井公・久保昌紀</p> <p>(13-7)佐賀県白石町での地盤調査結果と有明粘土層の土質特性 ○大島昭彦（大阪市立大学）・田中さち・武野航大・段志磊・高橋秀一・深井公</p> <p>(13-8)温度変化が粘性土の間隙水質および圧密特性に及ぼす影響 ○小河篤史（奥村組）・高井敦史・山口和樹・勝見武</p>
<p>12月3日（木）<span style="float:right">A会場 16:20～17:30</span></p> <p>【特別講演】</p> <p style="text-align:right">座長：勝見 武（京都大学）</p> <p>那覇空港滑走路増設事業について</p> <p style="text-align:right">原田卓三 （内閣府 沖縄総合事務局 那覇港湾空港整備事務所 所長）</p>		

<p>12月4日（金）<span style="float:right">A会場 8:50～</span></p> <p>【受付】</p>		
<p>12月4日（金）<span style="float:right">A会場 9:30～11:10</span></p> <p>【04. 固化4（砂質土）】</p> <p style="text-align:right">座長：宮本順司（東洋建設） 持田泰秀（立命館大学）</p> <p>(4-1)グラベル・パイルによる砂質地盤の締固め効果に関する模型試験 ○中島啓太（長岡技術科学大学）・大塚悟・福元豊</p> <p>(4-2)微粒子系セメントの砂質地盤への浸透注入特性に関する研究 ○鍋島康之（明石高専）</p>	<p>12月4日（金）<span style="float:right">B会場 9:30～11:00</span></p> <p>【09. 地盤環境3（浄化）】</p> <p style="text-align:right">座長：川崎哲人（竹中土木） 末次大輔（宮崎大学）</p> <p>(9-1)イオン交換反応と凍結融解現象を利用した汚染土壌洗浄技術における事前混合が洗浄効果へ及ぼす影響 ○廣瀬剛（奥村組土木興業）・高橋尚也・神田充伯・伊藤譲・芮大虎・山内義文</p>	<p>12月4日（金）<span style="float:right">C会場 9:30～10:50</span></p> <p>【14. 品質管理】</p> <p style="text-align:right">座長：高井敦史（京都大学） 玉井俊行（旭化成建材）</p> <p>(14-1)DCS工法のリアルタイム位置計測管理システムの開発 ○グエンホンソン（安藤ハザマ）・足立有司・山田実・高植俊彰・小林雅人・高田守康・稲積真哉</p> <p>(14-2)セメント安定処理土の三軸圧縮強度とせん断波速度の関係</p>

<p>(4-3)打設角度が異なる SCP 改良杭の砂地盤上の盛土の沈下挙動に関する遠心模型実験 ○李楊（東京工業大学）・北詰昌樹・高橋章浩・大林淳・原田健二</p> <p>(4-4)リサイクル材料を用いた締固め砂杭（サンドコンパクションパイル）工法への取り組み ○尾形太（不動テトラ）・橋本則之・伊藤竹史・竹内秀克・矢部浩史</p> <p>(4-5)建設車両用タイヤによる原位置地盤の締固め効果とその実用的評価に関する研究 ○中村裕希（日本国土開発）・安福規之</p> <p>(4-6)異なる養生環境における締固めた改良土の化学的特性の変化が長期的な強度変化に及ぼす影響 ○青山翔吾（土木研究所）・宮下千花・泉尾英文・山崎秀策</p> <p>(4-7)様々な応力経路における砂の圧縮変形とエネルギーによる評価 ○吉本憲正（山口大学）・石橋弘康・中田幸男</p> <p>(4-8)可塑性グラウト圧入充填を対象にした簡易数値シミュレーションの基礎検討 ○石井裕泰（大成建設）</p>	<p>(9-2)酸性化要因の違いが土の中性化処理へ及ぼす影響 林泰弘・○赤司かがり（西日本技術開発）・古賀亮佑・佐藤市郎・田村明・松尾雄治</p> <p>(9-3)油含有細粒土を対象とした洗浄処理工法の開発 ○日野良太（大林組）・下田政朗・山崎啓三・大西健司・三浦俊彦</p> <p>(9-4)石灰・セメント改良土のアルカリ拡散評価方法の検討 ～パラメータの取得～ ○諸富鉄之助（大林組）・三浦俊彦・森下智貴・肴倉宏史</p> <p>(9-5)清掃工場の排ガス及び CO<sub>2</sub>により炭酸化处理を施した一般廃棄物焼却主灰の地盤材料特性と長期安定性 ○永山陽裕（福岡大学）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣・久保田洋・繁泉恒河・高地春菜・肴倉宏史</p> <p>(9-6)炭酸化養生した石灰灰造粒固化物の溶出挙動評価および淡水域への適用性検討 ○石神大輔（鹿島建設）・河合達司・林文慶・篠原智志・上島裕・佐藤毅</p> <p>(9-7)自然由来ヒ素含有泥水を弱酸性領域で還流する泥水管理手法の開発 ○大山将（鴻池組）・松生隆司・小山孝・阪部久敬</p>	<p>○矢田部瑛平（日本大学）・山田雅一・道明裕毅・近藤壮一郎</p> <p>(14-3)日米の液状化予測と対策の改良効果についての考察 ○原田健二（不動テトラ）・Roland P. Orense</p> <p>(14-4)高圧噴射攪拌工法における改良体の迅速な品質管理方法の開発 ○山野辺純一（ケミカルグラウト）・小宮一仁・遠藤宗仁</p> <p>(14-5)電気検層を用いた薬液注入工法の出来高確認 ○大野康年（大洋基礎工業）・伊藤孝芳・村田芳信・荻谷敬三・花田有紀・雪吹和那・八嶋厚・下坂賢二・赤塚光洋</p> <p>(14-6)音波探査による高圧噴射攪拌工法の改良体形状計測試験 ○西尾竜文（安藤ハザマ）・足立有史・グエンホンソン・榎原淳一・高田一</p> <p>(14-7)改良土を用いた路床上に施工された路盤工における加速度システムの適用性について ○橋本毅（土木研究所）・宮下千花・近藤益央・石黒健</p>
<p><b>12 月 4 日（金）</b> <b>A 会場</b> <b>12:30～14:00</b></p> <p><b>【 05. 固化 5（特性評価） 】</b></p> <p>座長：乾 徹（大阪大学） 尾形 太（不動テトラ）</p> <p>(5-1)固化破碎土の物性値・強度と作製条件との関係 ○佐藤厚子（土木研究所寒地土木研究所）・畠山乃</p> <p>(5-2)衝撃加速度を用いた改良路床の品質管理方法の検討 ○樋口侯太郎（土木研究所寒地土木研究所）・畠山乃・佐藤厚子</p> <p>(5-3)杭式深層混合処理地盤の改良深さが外部安定性に及ぼす影響に関する遠心模型実験 ○磯村健人（東京工業大学）・北詰昌樹・堀越一輝</p> <p>(5-4)初期せん断を受けた固化処理土の一面せん断特性 ○上田智郎（東京工業大学）・笠間清伸</p> <p>(5-5)固化処理土の室内配合試験に関する国際共同研究 ○北詰昌樹（東京工業大学）・前田達矢・高橋英紀・Per Lindh・Martin Holmén・Yvonne Rogbeck・António Alberto S. Correia・Paulo J. Venda Oliveira・Jorge A. Villarroel Ortega・Ignazio Paolo Marzano</p> <p>(5-6)机上型装置を用いた針貫入抵抗の多点測定による一軸圧縮強さの換算推定とその検証 ○小林真貴子（大成建設）・石井裕泰・藤原斉郁・青木智幸・笠間清伸</p> <p>(5-7)地盤改良固化土の粘着力と一軸圧縮強さの関係 ○福島伸二（フジタ）・北島明</p>	<p><b>12 月 4 日（金）</b> <b>B 会場</b> <b>12:30～14:00</b></p> <p><b>【 10. 地盤環境 4（遮水） 】</b></p> <p>座長：山田祐樹（大林組） 吉本憲正（山口大学）</p> <p>(10-1)ソイルセメント柱列壁の引抜き抵抗評価に関する研究 ○渡邊康司（愛知工業大学）・横山伴師・平田昌美・和田后司</p> <p>(10-2)複合ポリマー型地盤改良剤の物性と改良効果について ○中野駿（東亜合成）・後藤彰宏・坪内隆太郎・加藤満・後藤宇・大山将・小山孝・勝見武</p> <p>(10-3)硫酸還元反応を利用した地盤の透水性制御技術の検討 ○篠原智志（鹿島建設）・伊藤圭二郎・上島裕</p> <p>(10-4)廃棄物施設の遮水層に適用されるペントナイト碎石の動的変形特性 ○新井靖典（NB 研究所）・成島誠一・佐古田又規・西村友良</p> <p>(10-5)不溶化層と縦樋による盛土内導水機能の有効性の検証 ○小谷護留（宮崎大学）・森下智貴・三浦俊彦・伊藤健一</p> <p>(10-6)微生物増殖を加味した MICP シミュレーション技術の開発 ○西村伊吹（琉球大学）・松原仁</p> <p>(10-7)凍土遮水壁周辺地盤における透水係数の変化について ○山本佩芳（摂南大学）・伊藤譲・廣瀬剛・長濱太造</p>	<p><b>12 月 4 日（金）</b> <b>C 会場</b> <b>12:30～14:00</b></p> <p><b>【 15. 施工技術・現場試験 】</b></p> <p>座長：阪本廣行（フジタ） 杉山太宏（東海大学）</p> <p>(15-1)杭先端パワーチャッキング工法による既存杭の引抜き撤去 ○桑原秀一（日本杭抜き協会）・小椋功士・濱田聡一郎・角谷真路・幸田隆弘・藤川芳輝・稲積真哉</p> <p>(15-2)既存杭撤去孔の埋戻し方法と埋戻し部の品質調査 ○沼本大輝（長谷工コーポレーション）・中村光男・荒井信一</p> <p>(15-3)丸太で補強した軟弱地盤における大型平板載荷試験 ○沼田淳紀（飛鳥建設）・村田拓海・佐々木修平・藤野一・川崎淳志・杉山耕平</p> <p>(15-4)強制加振による応答記録を用いた防波堤基礎地盤特性の同定システムの構築 ○三神厚（東海大学）・藤田孝康・三上信雄・笠井哲郎</p> <p>(15-5)大型動的コーン貫入試験の貫入機構の検討 ～打撃効率による打撃回数補正、周面摩擦力の測定、打撃孔傾斜角の測定～ ○田中さち（関西エアポート）・高橋秀一・大島昭彦・坂口達哉・山田卓</p> <p>(15-6)スウェーデン式サウンディング試験の全自動式試験機の比較とスクリーポイントの直径、摩耗の影響 ○深井公（積水ハウス）・大島昭彦・萩原侑大・松谷裕治</p> <p>(15-7)2016 年熊本地震における住宅・宅地・擁壁被害について ○諏訪靖二（諏訪技術士事務所）・福田光治・神宮司悠介</p>
<p><b>12 月 4 日（金）</b> <b>A 会場</b> <b>14:20～14:40</b></p> <p><b>【 優秀発表者表彰式・閉会 】</b></p>		